

TITLE	夕オル	重松 清	P. 一八一三	3
SUBTITLE	前回の続き		DATE	☐ ☐ ☐

② 「みちしお荘」に向かう場面
少年がもう一人の中心人物である三ツイさん
をみちしお荘まで案内していく様子が書かれている。

Q 必ず「仕事を与えられては」とした。のは何故か？

↓ ① 場面では居場所もすることもなかったから

○ ニツイさんとのやりとりの中での少年の気持ちについて

(1) ニツイさんから厄介なことを言われた時

↓ 仲間だと言われているようでちょっとうれしかった

(2) ニツイさんからお父さんや祖父との関係の話を聞いた時

↓ 祖父がほめられてうれしい。話についていける安堵した

(3) お父さんの写真の話を聞いた時

↓ 胸がどきどき、わくわくする。

※この場面では、うれしかった、ほっとしたなど気持ちが直接わかる表現が多い。

これは簡単なパターンなので、見落とさないように！

これは簡単なパターンなので、見落とさないように！

第二場面のおとめ

この場面は少年にとって大きな転換点。ニツイさんの存在によって少年に居場所ができて、それと同時にニツイさんの話から父や祖父について考えるきっかけができた。